

盲導犬は視覚障害者の大切なパートナー

身体障害者補助犬法が成立してから一年を迎えました。

十月からは、デパート、スーパー、ホテル、飲食店などの不特定多数の人が利用する施設では、身体障害者が補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）を同伴することを拒んではならないことになりました。

県内には介助犬、聴導犬は普及していませんが、盲導犬は現在七頭が活動しています。

補助犬を必要としている人がまだまだいることは事実で、今後徐々に普及してくるものと思われまます。

みなさんの理解と協力で、身体障害者の自立と社会参加を応援しましょう。

お問い合わせ先 生活福祉課
（☎ 20-3181）



盲導犬はわが子同然。どこへ行くのも一緒です。
浮穴さんと愛犬ネレン（左）。国岡さんと愛犬レイ（右）

利用者からの声

市内で実際に盲導犬を利用している国岡美代子さん、浮穴康子さんに聞きました。

盲導犬を同伴して思うことは？

県外では、満員電車や街中でもごく自然に受け入れられ、とても歩きやすかったです。残念ながら鳥取では、珍しいのが盲導犬に近付いてきたり、触ったりして、盲導犬が仕事に集中できなくなり、私たちが困ることがたびたびあります。

盲導犬利用者として要望は？

街を歩いているときは、盲導犬は仕事中です。犬に直接声をかける、触る、食べ物を与える、気を引く（口笛・舌打ちなど）、じっと見つめることなどはしないでください。犬を好きな人も嫌いな人も「好意的に無視」をしてください。

盲導犬は厳しい訓練を受けているので、危害を加えることはありません。もしも、盲導犬が迷惑になる行動をした場合には、使用者に教えてください。（他人に叱られても理解できず、吠えるきつかけとなるため）

10月19日(日)は全市一斉清掃

みんなでごみのない美しいまちを

- ◇ 分別方法に注意してください。
- ◇ 家電製品や大型ごみ、タイヤ、バッテリーなどは出さないでください。

■問い合わせ先

鳥取市を美しくする会（市民参画課内・☎ 20-3163）



～有機質肥料「いなばコンポ」～

し尿処理施設や集落排水処理施設で生物処理された汚泥を原料とした、衛生的で環境にやさしい次世代クリーン肥料です。

■購入先 鳥取いなば農協 各支店

■問い合わせ先

鳥取県東部広域行政管理組合
生活環境課（☎ 26-0532）

